

# 彦名通信

2023

3

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE

vol.209



デザコン本選会場集合写真

## Index

### 卒業・修了特集

5年機械工学科……………	2	求人・進路状況……………	8	旧ボイラー室・遊歩道・国際交流……………	15
5年電気情報工学科……………	3	資格試験合格者……………	9		
5年電子制御工学科……………	4	進路研究セミナー・高専祭体育の部……………	10	<b>としょぶらり</b> ……………	16
5年物質工学科……………	5	デザコン最優秀賞・特別審査員賞……………	11		
5年建築学科……………	6	学生表彰・スポーツ協会表彰・各種大会……………	12	卒業生は今(vol.28)……………	24
専攻科2年……………	7	各種大会……………	13		



集合写真

### 5M担任 矢壁正樹

3年生の時から新型コロナウイルスの影響を受け、遠隔授業や夏休み期間の登校停止、制限された部活動、お客さんの居ない高専祭など、今までに無い心身にわたる苦労があった事と思います。そのような状況下でも、変わらず真面目に学業に励んでくれた学生諸君には拍手喝采を送りたいと思います。これからはしばらくは困難な状況が続くかもしれませんが、春からは心機一転して、それぞれの場所で、それぞれの目標に向かって頑張ってください。最後になりましたが、本校の教育に対して、ご理解とご協力を賜り、卒業生を支えてこられた保護者の方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



### 5M 寺澤 光

高専に入学した当初は5年間は長過ぎると思っていましたが、あっという間に卒業を迎えてしまいました。一緒に過ごした友人たちと卒業を迎えることができ、胸がいっぱいです。5年間の高専生活で得た教訓は、辛い事があっても次は良い事があるという事です。勉強と部活動を並行して生活する中で、何度か泣きたくなる夜もありましたが、全て周りの人たちの支えがあって乗り越えることができました。感謝しかありません、ありがとうございました。

高専卒業後は大学に進学しますが、両親や先生方、そして友人がいたからこそ、今の自分があることを忘れずに頑張ります。また皆さんにお会いする時はお互いに成長した姿を見せられるように頑張らしましょう。

### 5M 近藤 修

時に楽しく、時に辛いこともあった5年間は一瞬でした。私は、機械工学科のカリキュラムで培った多様な知識や経験、物事を最後までやり遂げる大切さ、プラントの設計に携わりたいという夢を高専で得ることができました。高専での5年間は今まで20年生きてきた人生で最も有意義なものであり、ここで得たものは私の中で大きな武器になると考えます。

この5年間で最高で意義ある高専生活になったのも、同級生や先生方をはじめとする周囲の方の協力・支えあってのものと考えます。本当にお世話になりました。

次の春より技術者としての素養を更に磨くため長岡技術科学大学に学籍を置くことになりました。先に活躍されておられる先輩方や卒業する同級生に負けぬよう、また将来の夢を叶えられるように精進する次第です。本当にありがとうございました。



球技大会にて



上原研研風景



卒業研究発表会を終えて

## 5E担任 宮田 仁志

ご卒業おめでとうございます。4月から皆さんの新生活が始まります。今から約800年前、道元禅師が「身、初心なるを顧みることなかれ」という言葉を残しました。これは、経験や知識が無いからといって気後れすることなく、新しい事にチャレンジしていきなさいという意味です。どんな道の専門家でも初めから何でもできる人など居ません。誰でもはじめは初心者です。失敗を恐れず、目の前のやるべき事にしっかり取り組んでください。コロナ禍で世の中の様々な仕組みが変わりました。皆さんはその新しい世界で生きていくことになります。失敗してもいいんです。失敗して、落ち込んで、悩んで、そしてまた歩き出す。だから人生はおもしろいのです。

## 5E 森田 孝太郎

この5年間、果たして高専に来たことは正解だったのだろうか、などと考えても仕方ないようなことを幾度となく考えたことがあります。しかし、こうして卒業を目前にすると、もうそうしてきたのだから仕方無い、という気持ちも僅かにありながら、やはり高専で過ごしてきたこの5年間は良かったと感じています。また、支えてくれた両親、先生方、仲良くしてくれた友人、先輩たち、周りの方々に恵まれながら高専生をやってこられたことにすごく感謝しています。春から、何もかも新しい環境になることは楽しみだけでなく不安はありますが、高専で得た経験などを支えに頑張ります。ありがとうございました。

## 5E 長谷川 小雪

私は茶華道部に所属しており、そこで沢山の友人や頼れる先輩、かわいい後輩たちに囲まれて、日々楽しく活動してきました。授業でへとへとになっても、皆と綺麗な花に触れたり、暖かな和室でお茶を飲んだりする時間が疲れを癒してくれ、私は何よりもその時間が大好きでした。もちろん作法を覚えたりするのは大変ですが、華道や茶道の先生には、それぞれの作法以上に様々なことも学ばせてもらい、とても良い経験になりました。

高専に入学してから勉強に部活に大忙しで、長いようで短い、あっという間の5年間でした。そして、たくさんの人に支えられた5年間でもあり、両親や先生方、友人たちには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。



クラスの仲間たち



茶華道部の活動



卒業研究発表会後の卒業生・教職員集合写真

## 5D担任 山本英樹

5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。この3年間は新型コロナウイルス感染症のため、思うような学生生活を送ることが出来ず、本当に大変でした。そのような状況の中でも、電子制御工学科の学生として、色々なことを学び、新しい進路に向かって旅立つことができ大変うれしく思います。さて、これからの新しい生活では、一発勝負のトーナメントではなく、勝ち負けを繰り返しながら成長していくことが出来るリーグ戦のような場面が多くなっていくと思います。自分にとってずっと先の目標を考え、その目標に向かって、ゆっくりとでも着実に進んでいくことが出来ます。これからも教職員一同、皆さんを応援しています。いつでも会いに来てください。

## 5D 若林 遥大

電子制御工学科での5年間は、学業や課外活動を通して様々なことを学びました。この集大成として、5年間で学んだ機械・電気電子・情報の各分野の知識を活かしたセルフレジシステムの開発を有志7名で行いました。また、このシステムを2年ぶりに外部の方の参加ができた今年度の高専祭で披露し様々な方に利用してもらったり、地元新聞2社より取材を受け紙面に掲載されたりしたことで、D科とJコースの広報になり卒業を控えて良い置き土産となったと思います。

本企画は共にD科で学んできた仲間がいたからこそできたことであり、集大成として満足できる結果となったと思います。D科だからこそできたこの学びを卒業後も生かしていきたいと思っています。5年間ありがとうございました。



開発したセルフレジシステムを囲んで

## 5D 石原 あみ

私はこの5年間でとてもたくさんの人に助けられました。3年生から始めた学生会活動では、コロナ禍の中で協力して高専祭を実施できました。テスト期間には先生方や、クラスの友達に勉強を教えてもらったおかげで無事卒業することが出来ました。就職活動では、専門知識を活かしながら化学系の職に就きたかったので、春休みに友達と学校に通い資料室で様々な企業をみて選び、先生方や友達に面接練習を手伝ってもらいました。

この5年間で本当にたくさんの人に助けられて充実した学生生活をおくる事が出来とても感謝しています。これからは私が多くの人を助けていけるよう行動していきたいと思いました。来年からは社会人として色々な人の助けになれるよう社会に貢献していきたいです。



みんなでコスプレ



卒業研究発表会場での集合写真

## 5C担任 伊達 勇介

みなさん、ご卒業おめでとうございます。3年生から5年生の卒業に至るまで、各種の行事が中止となる等、様々な制約を受けた学生生活だったと思います。5年間の高専生活を終え、4月から新天地で新しい生活が始まりますが、幸い4月以降に制約はほとんどなくなります。充実した人生となるよう、それぞれが据えた目標に向かって、歩んでください。困難なことも訪れるでしょうが、本当につらいときは無理をする必要はありません。必ず助けてくれる人がいます。

## 5C 福田 菖太

気づけば卒業、あっという間の5年間でした。新しい環境に不安を感じつつも、興味のある分野を深く学ぶことに期待で胸を膨らませ入学したことを今でも鮮明に覚えています。入学当初は、レポートの書き方や実験器具の扱いなど何から何まで分からず、あたふたしていました。そんな自分がここまで成長できたのは、周りの人に恵まれていたからだと思います。いつも支えてくれた家族、クラスメイトや先輩方、親身になってご教授くださった先生方、本当にありがとうございました。5年生になり卒業研究に取り組むようになってからは特に時間の流れが速く、毎日の実験や学会での発表など多忙でありつつも充実した日々を過ごし、大きく成長することができたと思います。卒業後は大学に編入するため、高専で得た知識や経験を基に、さらなる研鑽を積んでいきたいです。

## 5C 砂場 遥陽

あっという間に5年間が終わってしまいました。優しく温かい仲間にもまれて、素敵な高専生活を送ることができました。5Cで良かったです。私達はいろいろなことがありすぎて歴代担任の先生方はとても大変だったと思います。特に伊達先生、本当にお世話になりました。5年間ほぼ毎日会っていた人たちと会わなくなる実感が湧きませんが、4月からのみんなの新生活を応援しています。みんなが幸せでいて欲しいです。私も社会人ががんばります。今は違う道で頑張っている学生やみなくんを含めたクラスメイト、男バレのみんな、晴日ちゃん、女子寮関係者、寮務の方々、先生方、保護者の方々..... 5年間本当にありがとうございました！！！！



大山森の国にて



出雲大社にて



卒研究発表会での集合写真

## 5A担任 北 農 幸 生

5Aの皆さんが3年生の頃から3期連続で担任を務め、私自身初めての4、5年担任も経て常に新鮮な気持ちでクラスと関わらせていただきました。皆さんが成長し卒業していく姿を見届けるのは、嬉しくもあり、寂しくもある。ちょっと複雑な気持ちで今を迎えています。コロナの影響で工場見学旅行や多くの学校行事が中止になる中、そのような状況下だからこそ他者との繋がりを大切に、友人と楽しんで学ぼうとする皆さんの逞しさを見させて頂きました。先行き不透明な今後の社会ですが、どのような環境下であってもそれを楽しもうとするかどうかは自分の心が決めるもの。またいつか、皆さんが更に成長し、元気そうな笑顔を見せてくれる日を楽しみにしています。

## 5A 西 川 和 樹

人生の財産。そう思わせてくれ、充実した5年間を共に過ごしてくれたクラスメイトのみんなには感謝しかありません。心からこの仲間と出会えてよかったと思います。学年が上がるにつれ団結力が上がり、ひとつの大きなチームとして成長できたこと、とても誇りに思います。なんと言っても高専祭3連覇は伝説を残したよね。本当に忘れられない思い出がたくさんできました。

15歳の決断を応援してくれどんな時も味方でいてくれた家族、5年間お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

そして何より、共に苦悩し助け合い、たくさんの時間を、思い出を創った大切な仲間へ。これからはお互い新たなステージで頑張ろう！本当にありがとう！



毎年恒例の高専祭後のBBQ

## 5A 勝 部 真 生

高専に合格し涙を流した2018年、それから5年間、毎回前日の夜から始めてしまうテスト勉強、設計課題の提出前、終わりの見えない卒業研究、怒涛の高専生活は厳しさから涙を流すこともあり、何度も学校をやめようと思いました。ですが、高専祭、ベンチ製作など仲間との唯一無二の体験が支えとなり、豊かなものにしてくれました。

つらい事があっても美味しいご飯を作って、「おかえり」を言ってくれた家族、常に進級と留年の瀬戸際を生きていた自分に理解するまで勉強を教えてくれた友人、どんな時も見捨てず支えてくださった先生方、最高の5年間を共に過ごした5Aの仲間、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。春からは米子高専卒の技術者として社会に貢献します。



小椋研の広島旅行



集合写真

## 専攻科長 小川和郎

みなさん、専攻科修了おめでとうございます。専攻科での2年間をふりかえってみると、入試から修了式まで、コロナ一色でしたね。密を避け、ほとんどの行事に制限がかかる中、勉強や研究には密に取り組むことが出来たのではないかと思います。しかし、コロナ禍だからこそ、できた経験もたくさんあったのではないのでしょうか。また、コロナ禍だからこそ、開発された技術もあったかと思えます。今度はみなさんの経験と知識を活かしてこれらの技術を改善し、より快適な生活が送れるようなものを開発して下さい。

慣れ親しんだ高専生活が終わり、4月からは新たなフィールドでゼロからのスタートが始まります。高専で培った広い知識と高い技術力を活かし、思う存分活躍してくれることを期待しています。そして、新しい世界で新しい仲間とともに、コロナに負けない新しい社会を築いてください。明るい未来は、みなさんの手の中にあります。

## 生産システム工学専攻2年 陶山一宇

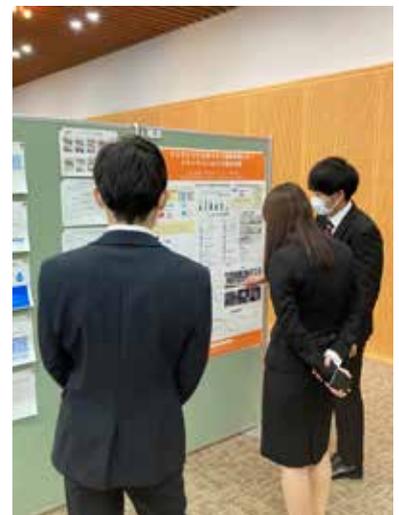
高専生活を振り返ると、とても短い期間であったかのように感じます。そして、そう感じるほどに長い時間を無意識へと譲り渡してきたことを実感し、反省しております。しかしながら、自分のために学ぶことを決意し、友人や周囲の皆様と困難を乗り越えてきた僅かな時間は、かけがえのない経験であり、今後も私を支えてくれるものだと確信しております。最後に、7年間私を支えてくださった皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

## 物質工学専攻2年 大江信之輔

気が付けば専攻科課程が終わってしまいます。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って登校できない期間もありましたが、学校教職員の皆さまのお陰で「学びを止めない安全安心な学校生活」を送ることができました。本科5年生から合わせて3年間、現在の研究室でお世話になりましたが、最後に現地開催された高専シンポジウムの運営に携わり、研究発表することができて大きな経験になりました。濃い2年間をありがとうございました。

## 建築学専攻2年 眞山尚輝

本科入学時には高専に7年間も在学するとは思っていませんでしたが、思い返すととても充実した日々でした。本科5年間は部活動や勉強、専攻科2年間は研究活動と忙しい日々でしたがその中で頼りになる仲間たちと先生方に助けられて成長することができたので今の私があります。7年間過ごしたこの地を去るのは寂しいですが、新たな環境でより成長できるように自分らしく全力で取り組んでいきたいと思えます。私に関わって下さった全ての皆さん、本当にありがとうございました。



発表会

# 令和4年度求人・進路状況について

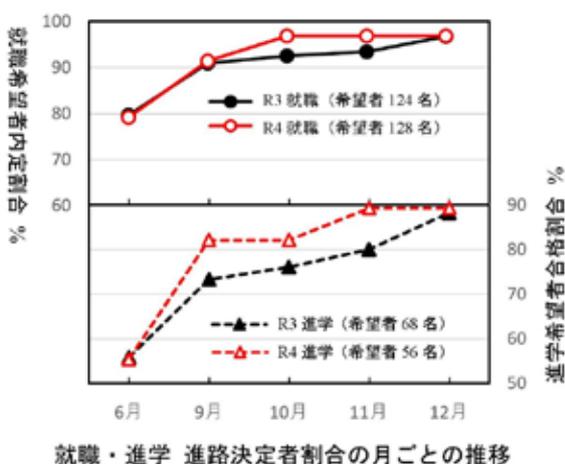
## ◆ 本 科

5年学年主任 宮 田 仁 志

本年度も、いわゆるオンライン面接試験を実施する企業が大半でした。人事担当者のお話では、コロナの影響が無くなったとしても最終面接試験の前まではオンラインで実施するという企業が少なくないとのこと。背景に経費削減といった企業側の思惑もあるようです。コロナの影響で、面接試験の方法が大きく変わったと言えるでしょう。

本年度の特徴は、第4学年時にインターンシップが中止になるなどの影響で、進路決定の材料が不足している学生が多かった点です。毎年実施している「米子高専生のための進路研究セミナー」も中止になったため、情報を得る術がありませんでした。その結果、各学科とも学生の就職活動の立ち上がりが遅かったようです。

図は就職・進学希望者の進路決定割合（5学科合計%）の月ごとの推移です。図中の実線で示す就職希望者内定割合は、6月9月と昨年度並みに推移しています。一昨年度の6月は70%でしたので、採用試験が、ほぼ通常のスケジュールに戻ったことがわかります。就職希望者内定割合は、昨年度よりも早い時期に90%代後半に達しています。4月当初の立ち上がりが悪かった割には、健闘したようです。図中の破線で示す進学希望者合格割合も、昨年度より10%前後高くなっています。これは第一志望大学に合格した学生が多かったことを示しています。



ここ数年、コロナ禍であっても高専卒業生に対する評価の高さは変わりませんでした。本科全体の求人数も5学科を合計すると約3千人で、本年度も高い求人倍率を維持しております。

## ◆ 専攻科

専攻科長 小 川 和 郎

専攻科修了生に対する求人はコロナ禍の中でも低下することなく、本年度は就職希望者に対して専攻科全体で140倍を超える求人数がありました。これは本校の専攻科修了生が各方面で活躍していることはもちろん、専攻科修了生への強い期待感の表れであると思います。また、専攻科生の就職試験は学校推薦によるものが多いため、大学生と比べて内定が出やすいのも特徴です。ただし、応募期間は年々早まっている傾向にあることから、早めの準備と対策が必要です。「専攻科に入学してから考えれば良いや」ではなく、今のうちから10年後、20年後になりたい自分を想像し、人生設計を立てることが重要です。情報収集と分析が重要なカギとなりますので、先送りにせず、常にアンテナを張って下さい。先輩の経験談も参考になると思います。研究・開発者を目指すなら大学院への進学も検討が必要です。わからないことなどがあれば、近くの先生にも相談してみてください。

この度、本校専攻科は、九州工業大学大学院生命体工学研究科と推薦入学に関する協定を締結しました。これによって、大学院への進学の道が新たに開かれます。現在の専攻科1年生からが対象となりますので、ぜひチャレンジしてみてください。

### 本科の求人・進学状況（令和5年1月末日現在）

学 科	卒業予定人数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	大学進学 決定者数	本校専攻科 進学決定者数	その他学校 進学決定者数
M	37	23	22	714	14	5	9	0
E	34	24	23	772	10	4	5	0
D	36	31	30	725	5	3	1	0
C	34	20	20	349	14	8	5	1
A	43	30	30	297	12	6	5	1
合計	184	128	125	2857	55	26	25	2

### 専攻科の求人・進学状況（令和5年1月末日現在）

専 攻	修了予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	進学決定者数
生産システム工学	15	11	11	2136	4	4
物質工学	4	4	4	323	0	0
建築学	4	4	4	309	0	0
合 計	23	19	19	2768	4	4

### 令和4年度 資格試験合格者（令和5年2月21日現在）

資 格 名	取 得 者			
	取得者数	内 訳		
TOEIC(800点～)	1名	4年生 1名		
TOEIC(750～799点)	4名	3年生 1名	4年生 1名	5年生 2名
TOEIC(700～749点)	3名	4年生 3名		
TOEIC(600～699点)	1名	5年生 1名		
TOEIC(500～599点)	8名	4年生 8名		
TOEIC(400～499点)	9名	3年生 2名	4年生 7名	
実用英語検定 準1級	1名	3年生 1名		
実用英語検定 2級	1名	3年生 1名		
実用英語検定 準2級	2名	4年生 2名		
危険物取扱者乙種	2-2(C) 野上 幸	3M 中本 大翔	5C 竹中 瑛久	
危険物取扱者甲種	2-2(E) 本城 拓人			
ITパスポート	4D 保田 航明			
応用情報技術者	S2 足立 凜			
宅健	5A 高野 陽子			
消防設備士 甲種	4A 鐵本 怜士真			
航空無線通信士	5D 徳本 大悟			
潜水士	S1 妹原 七虹			
NESTA キッズコーディネーション トレーナー	S1 妹原 七虹			

## 「米子高専生のための進路研究セミナー」開催報告

キャリア支援室長 権 田 岳

米子高専では、令和5年1月21日（土）にオンライン形式により「米子高専生のための進路研究セミナー」を開催しました。令和4年度の求人倍率は本科で約23倍、専攻科で140倍越えという企業の高い求人意欲を受けて、単独高専の開催としては全国最大級となる、企業約200社、大学9学部および大学院7研究科での実施となり、本校の本科3・4年生、専攻科1年生の約400名を対象としたほか、本科1・2年生および保護者の希望者が、自宅や学校から参加しました。

例年、学外の会場にて、対面により受ける場として実施しており、今年度は3年ぶりに対面形式で行なう準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、オンラインによる開催となりました。

参加企業については、大都市圏の企業だけでなく、学生の地元定着を図るべく、米子高専を支援する地元企業等の団体である米子高専振興協力会会員企業様65社に参加いただきました。

参加した学生達からは、「いろいろな企業のお話が聞けてよかった」、「質問できる機会は貴重なのでありがたかった」などの感想が寄せられました。学校から参加した学生も就職やインターンシップに役立つ情報を得ようと熱心に各企業や大学のオンラインによる説明を受けていました。

この「米子高専生のための進路研究セミナー」は、学生へのキャリア教育に大切な役割を果たすものであり、今後も継続して開催して参ります。



メディアラボでの様子



教室での様子

## 高専祭 体育の部

学生会体育局副局长 3C 内藤 すす

2022年12月15日に高専祭体育の部が行われました。今年は体育館競技のみを行いました。バレー、バスケ、バドミントン、ドッジボール、玉入れの競技をクラス対抗で競い合い、それぞれの獲得したポイントで順位を決定しました。私たち3年生が主体となって行事を行うのは初めてのことでしたが、先生や先輩方に手厚くサポートしてもらいながら比較的スムーズに進めることができました。

私は玉入れの会場にいる時間が多く、色々なクラスの試合を見ていました。みんなが一生懸命戦い、勝利を喜んでいる姿を見てとても嬉しい気持ちになりました。約1か月前からコツコツと準備をしてきたので、みんなが楽しんでいる姿を見てとてもやりがいを感じる事が出来ました。これからも全員が高専生活の中で強く思い出に残る様な行事ができるよう努力していきたいです。



玉入れの様子

# 第19回全国高等専門学校デザインコンペティション in ARIAKE 最優秀賞と特別審査員賞を受賞!

## 構造デザイン部門 最優秀賞 「5連覇」

4A 山田 果奈

今年度のデザコンは福岡県大牟田市で2日間にわたり、現地開催されました。今大会は「新たなつながり～ふたつでひとつ～」のテーマのもと分割された2つの橋をスパン中央でつなぎ10kg～50kgの荷重を載荷していくという課題でした。始めは何も分からず、本当に出来るのか全く自信がありませんでした。先生や先輩方に教えて頂きながら、橋を作り、壊し、また作り直して段々強く軽く進化する橋を見て、徐々に大会に出場する実感が湧いてきました。大会当日初めて他高専さんの作品を見て、様々な形や大きさの橋があり、面白いと思いましたが自分達の作品があまりにも細くて、軽さを重視し過ぎたかなととても不安になりました。そのせいか載荷試験前は緊張しましたが、同じく参加していたもう1つの米子高専のチームのみんなが近くで見てくれていたので安心して落ち着いて載荷試験に挑むことが出来ました。結果50kgの載荷に成功し、58.6gの最軽量で最優秀賞を頂きました。

デザコンを通して橋に負けないくらい私達の心も1つになり、メンバーのみんなと協力して最後までやり切れたと思います。手伝って下さった皆さん、応援して下さいました。



受賞メンバー



載荷競技の様子

## 空間部門 特別審査員賞(三菱地所コミュニティ賞)

4A 宮本 滯

今年度は初めてデザコン空間部門に取り組み、114作品中4位に当たる特別審査員賞(三菱地所コミュニティ賞)をいただくことができました。「2040年集いの空間」というテーマのもと、商店街の2階部分に小学校の機能を入れた、「ショーにん通り～ただいま学校に帰りました～」を提案しました。徳田来夏さん、松原ひな子さん、私の3人グループで取り組みましたが、話し合いを始めた頃はテーマをどのように建築に落とし込むかを何度も考え、頭を悩ませました。本選出場が決まった時はみんなで喜び、計画を立てたり、作戦を練ったりなど本番に向けて動き出しました。本選出場が決まったのは10月、当日は12月というブラッシュアップ期間の短さに落胆したことを覚えています。3人で役割分担を決め、私は現地調査、徳田さんは図面作成、松原さんはプレゼン資料の作成を行いました。一番の大仕事だったのが一畳サイズの模型製作です。先輩や後輩、友だちなどたくさんの方々を手伝っていただき大会前日に完成させることができました。また、商店街の方々の協力があってこそ予選時より密度の高い作品に仕上げることができました。課題やテスト期間とかぶり何度も辛くなりましたが、心が折れそうになるとお互いを励まし合って乗り越えました。頑張った良かったです。そして大会後の福岡観光を思い切り楽しみました。ご協力くださった方々、本当にありがとうございました。残りの学生生活も楽しみながら頑張ろうと思います。



本選会場展示の様子



本選1日目ポスターセッションの様子



米子市長への報告会

# 令和4年度学生表彰

—優秀賞（在学中顕著な成績を修め、優秀な賞を複数回受賞した者）—

## 学業優秀

5 M 小暮 芳渚（日本機械学会島山賞） 5 E 森田孝太郎（電気・情報関連学会中国支部賞）  
 5 D 山田 栞（電気・情報関連学会中国支部賞） 5 C 大田 芽生（日本化学会中国四国支部支部長賞）  
 5 A 原 麗斗（日本建築学会中国支部優秀卒業生） S 2 濱田 美生（日本化学会中国四国支部支部長賞）  
 S 2 眞山 尚輝（空気調和・衛生工学会学生賞）

## 陸上競技部

第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技 女子100m 2位ほか

5 E 矢田ほのか

## 卓球部

第56回全国高等専門学校体育大会卓球競技 女子団体 1位ほか

5 A 高野 陽子

## 剣道部

第54回全国高等専門学校体育大会剣道競技 女子団体 3位ほか

5 M 岡崎 麗菜 5 C 石井まとい 5 A 戸川 杏璃

## 放送部

全米高校映画祭2021 日本代表ほか

5 E 山本 善博 5 E 長谷川小雪

## デザコン

第18・19回全国高等専門学校デザインコンペティション 構造デザイン部門 最優秀賞

5 A 石倉 宗弥

## —米子商工会議所会頭賞—

5 M 森 拓真 5 E 今田 蓮 5 D 森下 武尊 5 C アルター 5 A 山中 雄太  
 S 2 陶山 一字（生産システム工学専攻） S 2 大江信之輔（物質工学専攻） S 2 持田 侑乃（建築学専攻）

※紙面の都合上、大会名・種目名、成績については代表的なもののみ記載としました。

# 令和4年度スポーツ協会・教育委員会表彰

## 【鳥取県スポーツ協会】

3 D 山崎 朝陽（ヨット部） スポーツ敢闘賞（個人） 3 C 土江亜依美（卓球部） スポーツ奨励賞（個人）  
 1-4 常松 世名（卓球部） スポーツ奨励賞（個人） 女子団体（卓球部） スポーツ奨励賞（団体）  
 女子団体（テニス部） スポーツ奨励賞（団体）

## 【米子市スポーツ協会】

女子4×100mリレー（陸上競技部） スポーツ奨励賞（団体）  
 4 A 佐々木悠作（陸上競技部） スポーツ奨励賞（個人） 3 M 幅田 健友（陸上競技部） スポーツ奨励賞（個人）  
 4 D 安田 倫（陸上競技部） スポーツ奨励賞（個人） 4 M 高倉 幸大（陸上競技部） スポーツ奨励賞（個人）  
 女子バレーボール部 スポーツ奨励賞（団体） 男子バレーボール部 スポーツ奨励賞（団体）  
 女子団体（卓球部） スポーツ賞（団体） 3 C 土江亜依美（卓球部） スポーツ賞（個人）  
 1-4 常松 世名（卓球部） スポーツ賞（個人） 4 M 石田 怜央（卓球部） スポーツ奨励賞（個人）  
 男子団体（卓球部） スポーツ奨励賞（団体） 4 M 石田 怜央（卓球部） スポーツ奨励賞（個人）  
 女子団体（剣道部） スポーツ奨励賞（団体） 1-1 西山 颯（水泳部） スポーツ奨励賞（個人）  
 3 C 仲西 美月（水泳部） スポーツ奨励賞（個人） 男子団体（テニス部） スポーツ奨励賞（団体）  
 3 D 山崎 朝陽（ヨット部） スポーツ賞（個人） 1-4 原 花楓（テニス部） スポーツ奨励賞（個人）  
 女子団体（テニス部） スポーツ賞（団体） 男子団体（テニス部） スポーツ奨励賞（団体）  
 4 A 松原ひな子（テニス部） スポーツ奨励賞（個人） 3 C 長谷川日葵（テニス部） スポーツ奨励賞（個人）  
 3 A 佐藤 日花（テニス部） スポーツ奨励賞（個人） 男子団体（バドミントン部） スポーツ奨励賞（団体）  
 女子団体（バドミントン部） スポーツ奨励賞（団体）

## 【鳥取県高等学校体育連盟表彰】

3 C 仲西 美月（水泳部） スポーツ賞（個人） 3 C 土江亜依美（卓球部） スポーツ賞（個人）  
 1-4 常松 世名 スポーツ賞（個人） 女子4×100mリレー（陸上競技部） スポーツ賞（団体）  
 女子団体（卓球部） スポーツ賞（団体） 3 D 山崎 朝陽（ヨット部） スポーツ賞（個人）

## 【鳥取市体育協会青谷町支部】

5 D 勝田羽弥真（バスケットボール部） スポーツ賞 4 E 小川 直純（バスケットボール部） スポーツ賞  
 5 C 大田 芽生（卓球部） スポーツ賞

## 【伯耆町教育委員会】

3 M 幅田 健友（陸上競技部） スポーツ優秀賞  
 3 C 山根 巧嵩（バスケットボール部） スポーツ優秀賞 2-4 江崎琉之介（バスケットボール部） スポーツ優秀賞  
 1-5 葉狩 羽流（放送部） 芸術文化大賞

## 【鳥取県知事表彰】

3 D 山崎 朝陽（ヨット部） 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」入賞

## お〜いお茶新俳句大賞で都道府県賞に入賞

教養教育部門 羽原 卓也

全国で194万句余の応募があった第33回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞で、都道府県賞（各都道府県5名）に、現在機械工学科3年の山本青依さん（応募時2年生）の句「影伸びる夕日と月とカレーの匂い」が選ばれました。帰宅時の一場面を切り取った句で、受賞作は「お〜いお茶」のパッケージに掲載され、副賞も送られました。また、3C 田原凜さん、平山翔琉さん、3A 三好雪心さんの3名の句も佳作に選ばれています。



都道府県賞を受賞した山本青依さん

## 科学部がJSEC2022第20回高校生・高専生科学技術チャレンジで優秀賞を受賞しました

2-4 松本 一生 1-1 前田 孝太郎 1-4 中田 杏南

私達は12月10日(土)、11日(日)に東京の日本科学未来館で開催された朝日新聞社主催のJSEC2022(第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ)の最終審査会に出場しました。今年度はJSEC史上最多の339件の応募があり、予備審査・一次審査を経て30件に絞られて最終審査会が開催されました。

私達の研究テーマは「オゾン層モニターとしての月食分光観測」で、月食時の月面を分光観測すると、近年回復しているといわれるオゾン層の状況がモニターできることを報告したものです。最終審査会では、審査員の先生方からの鋭い質問にどう回答しようかと非常に苦労しましたが、ファイナリストとして優秀賞をいただくことができ、とても良い経験ができました。



JSEC2022懇親会場にて

## 中国高等学校新人剣道大会に向けて

2-5 三浦 和花

去年に続き今年も中国大会に出場することが出来てとても嬉しいです。

予選の大会で良かったところは、みな適度な緊張感を持って試合に臨めたことです。準備運動やアップの段階からしっかりと気を引き締めて動くことが出来ました。そのため、とても良いコンディションで試合に臨むことができ、絶対に勝つという気持ちをもって積極的な試合が出来たと思います。中国大会では予選の時のように緊張しすぎることなく集中して試合に臨みたいと思います。次に悪かったところは、自分から技を出すことが出来ていなかったり、技を出せていても精度が悪く一本にならなかったりするところです。普段の稽古から積極的に技を出すなど試合で使えるように集中して練習をし、中国大会では予選の時の反省点を改善してより良い試合ができるよう頑張りたいと思います。



閉会式後の会場にて

## 令和4年度第50回記念全国高等学校選抜卓球大会男子2部シングルス出場決定

2-2 仲田 朔野

[第59回鳥取県高等学校卓球新人戦大会男子シングルスでベスト8に入り、ベスト16以上の選手で別途争われたトーナメント戦を制して、3月24日~27日に愛知県豊田市で開催される全国大会への出場権を獲得しました。]

まさか自分が全国大会に出れるなんて夢にも思わなかったです。2部シングルスとはいえ全国大会に出れるということが素直に嬉しかったです。今大会は苦しい試合が多く、接戦の場面が多かった気がします。そんな苦しい場面で頼りになったのが応援でした。声は出せないものの、得点を決めた時には観客席からチームメイトが大きな拍手をしてくれました。そのおかげで勝ち切れた試合も多く、改めて応援の大切さを実感しました。優勝が決まった瞬間、これまでの努力が報われ、人生で一番の最高の瞬間となりました。

全国大会では、自分よりも強い相手が多く出場すると思いますが、まずは予選リーグを突破して、決勝トーナメントで一勝でも多く勝っていきたいと思います。そして、悔いが残らないように、全国大会までの数少ない練習期間、1秒たりとも無駄にしないように練習に励んでいきたいです。



代表決定戦の試合

## ISYF2023派遣参加

化学・バイオ部門 谷藤尚貴

2023年1月14～19日の日程で行われました、15th International Science Youth Forum @Singapore 2023 (ISYF)に、本校の学生2名が参加してきました。本来は大阪市大で開催される高校生の研究発表会である、高校化学グランドコンテストの上位入賞チームが得る参加資格でした。しかし、今年度は大会が中止となったため、研究内容を書いたレポート書類で行われた選考により、本校のチームが日本からの派遣者に選ばれました。シンガポールでは、毎日タイトなスケジュールが組まれて、海外学生との交流が行われました。学生はへとへとになっていましたが、貴重な経験が得られたようです。



ポスター発表風景

3C 隅田蓮人  
ISYFに参加して私はよい経験をさせてもらえたというように感じました。私は英語を使うことが人より苦手なため、参加中もコミュニケーションがうまく行かない場面が多々ありましたが、そんな状況下でも周りの皆に助けをもらい、親睦を深めていく中で交友関係の幅を広くするとともに、自分の勉強に対する姿勢を改めることができました。

今回ISYFでは6日間、割り振られたグループで観光やチームプロジェクトなどに取り組みました。英語を上手く話せないことも多かったですがチームメイトの助けやジェスチャーで表現することで言語の壁を超えて仲を深めることが出来ました。日本の英語教育が遅れていると感じたと同時にこれから私の英語力を向上させたいと思うきっかけとなる貴重な経験でした。

3C 門永海星



グループワークで表彰された門永くん

## 【放送部】2大会(映画&ラジドラ)で全国1位に!

放送部部长 3E 松本颯人

放送部制作の映画「感情線 Link」が「高校生のための eiga worldcup2022」で2年ぶり4度目の最優秀作品賞を、ラジオドラマ「音の葉」が「第51回高等学校ラジオ作品コンクール」で2年連続となる最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞しました!

去年の eiga worldcup では最優秀を獲得ができず、今年こそはと企画、撮影に臨みました。1年生がたくさん入部し、意欲的に参加してくれたことも弾みになりました。新型コロナで思うように撮影できず、撮影日程はギリギリでしたが、なんとか完成させることができました。参加作品にはクオリティが高いものが多く、予選落ちするのではないかとソワソワしていました。東京で行われた表彰式で最終結果が発表されたときは、メンバー全員飛んで喜んでいました。最優秀脚本賞、優秀音楽賞なども同時に受賞し、日本代表として全米高校映画祭への出場も予定されています。

ラジオドラマ「音の葉」は映画制作とは別のグループによって夏休みに制作され、リモートによって会議や録音を行いました。ほぼ同時期に2つの成果が出て嬉しい限りです。1月末には、中国地区高校放送コンテスト VM 部門でも3位に入賞しました。

放送部では、毎月第一日曜日22時に DARAZ FM で放送されるラジオ番組の制作をするなど、活発に活動しています。番組づくりに興味のある方、是非、一緒にやりませんか?



最優秀受賞を喜ぶラジオドラマ「音の葉」制作メンバー



高校生のための eiga worldcup 表彰式後の集合写真

## JICAエッセイコンテスト 国内機関長賞受賞

1-3 田村綾梨

今回、JICA エッセイコンテスト国内機関長賞をいただき、感謝しています。JICA の講座を受講し、首都キガリと地方で貧富の差があることに気が付きました。そしてこの夏、ルワンダで支援されている方にインタビューしました。高専でしっかり勉強して、私に何か出来ることがないか考えて生活しています。



表彰状授与後

## 旧ボイラー室名称決定「ファミリア」

4年建築学科 松原 ひな子(学生会担当)

全校学生から、旧ボイラー室の名称とロゴマーク案を募集しました。投票の結果、5年建築学科、西川和樹さん+中山航大さん+河原朱里さん提案の Familiar (ファミリア) に決定しました。この名称には、「ラーニングコモンズが多くの人に『親しみやすい』空間に。」「この空間で共に学び、勉強し合うことで米子高専で出会った友達を、『親しい仲間』へと変えてくれる存在になって欲しい。」「現在も作り続けられている、建築物であるサグラダファミリアにあやかり、ここも永く米子高専生によって、作り続けられてほしい。」という思いが込められています。



ファミリア ロゴマーク



ファミリア 外観

## 遊歩道整備事業

学生会長 5E 小野 晃 季

この度、玄関から体育館までの両側緑地帯に2つの遊歩道ができました。1月12日には専門家の指導のもと沢山の学生も作業に参加しました。協力していただいた学生や先生方、そしてご指導いただいた専門家の皆様へ心からお礼申し上げます。遊歩道が完成したことにより、車両とのトラブルや事故の防止などの安全確保ができるようになりました。この遊歩道事業を通して、普段の学校生活の中では経験することができない様な貴重な体験をさせていただきました。普段当然のように使用している道にも、かなりの作業や工夫があることを学ぶことができました。今後もこの様な取り組みを行い、より良い米子高専になっていくことを願っています。



作業後の集合写真

## 国際交流活動について

English café へのお誘い

3D 横山 大 登

English café はほぼ毎週水曜日午後3時30分から図書館2階で、英会話のショーン先生と英語を用いて様々なアクティビティをしています! 英語でクイズをしたり、みんなで洋楽を聞いたりするので英語に触れる機会が増やせます。ネイティブの方と英語を使って話せるのは、普段得られないとても貴重な経験です。是非参加待っています!



English caféの様子

留学生 OB の英語による授業の実施

国際交流支援室副室長 教養教育部門 鈴木 章 子  
提携校であるパハン大学から本校の留学生 OB であるファイズ先生をお招きし、1年生を対象に物理の授業と2年電気電子コースの学生を対象に電気

回路の授業を英語で対面実施しました。英語を使って他教科を学習する経験を通し、学習の対象としての英語だけでなく、コミュニケーションのツールとしての英語の一面を感じることができたようです。English café やオンライン英語留学など英語に触れたり、国際交流の機会を設けたりしていますので、来年度もぜひ積極的に参加してください。

1-1 田上 大 翔

今回のファイズ先生の授業で特に感じたことは、英語を理解しようとする楽しさです。ファイズ先生の授業では、基本英語で進められていて何を話しておられるのか全然わからないところもありましたが、聞き取れる部分からこのようなことを言いたいのかと考えながら聞くことが楽しかったです。



1年3組での英語使用授業の様子



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報  
第116号令和5(2023)年3月 発行  
米子工業高等専門学校図書館

## 図書館のホームページをリニューアルします

図書館のホームページは、長らく図1のようなページ(現・トップページ)で公開・運用されてきましたが、この度リニューアルを図ることにしました。

あまり利用されなくなったコンテンツもあり、本校のホームページも新しいデザインにリニューアルされているので、そのスタイルにあわせ、コンテンツも更新します(図2)。



図1 現・図書館ホームページ(トップページ)



図2 新・図書館ホームページのイメージ

## 定期試験 1 週間前と定期試験中の土日祝開館の利用状況

今年度、図書館を土曜は原則休館にしました。昨年度までは授業期間中の土曜は開館(日曜・祝日は定期試験の時は開館)していましたが、利用状況やスタッフ不足などから、すべて休館にする方向で当初検討していました。

各部門の教員から意見を聞いたり、学生にアンケートを行ったところ、定期試験に配慮してほしいという要望が複数あり、その1週間前と試験中の土曜および日曜・祝日は開館し勉学に資することとしました。そして、開館することを Teams で案内するなど周知にも努めました。

そのように変更して1年間、各休日開館日の利用者数をカウントし、利用者へのアンケートも実施して、様子を見ました。それらの結果を報告します。



図書館で勉強する学生(2月4日出の様子)

休日開館日の利用者数は、館内にいる人数として最も多かったのが11月23日(祝)14時30分の27人でした(図1)。最も少なかったときは3人(6月11日(土)14時30分、6月12日(日)12時30分)でした。

1月28日(土)・29日(日)は大雪のため休館しました。その2日間を除く15日間開館して、館内にいた最大人数の平均は18.7人でした。

図書をカウンターで借りた利用者は、最大で6人、最小で0人でした。

利用者にはスタッフがアンケート用紙を渡して、学年や通学生/寮生の別、利用目的などを記入してもらい、回収しました。

それによると、学年別では、1年生が46%で約半数を占めました。次いで4年生(22%)、3年生(21%)が多く、2年生(8%)、5年生(5%)は少なかったです(図2)。

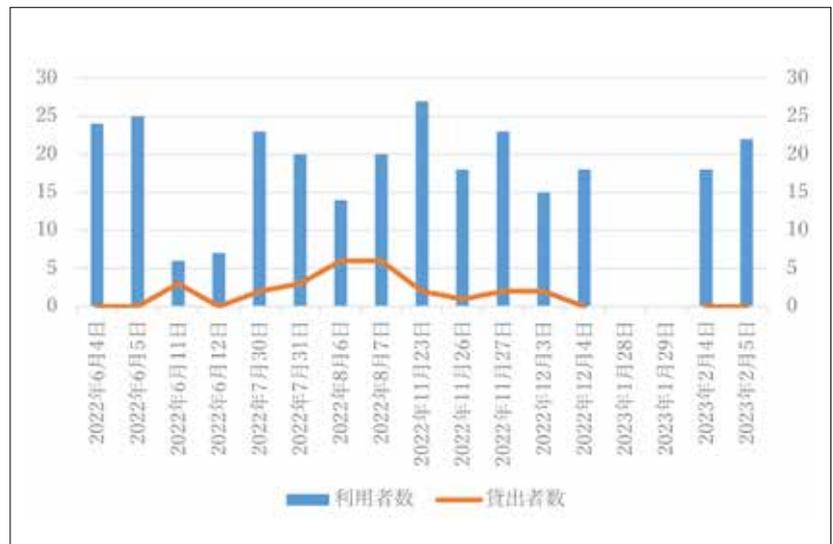


図1 休日開館日の利用者数と図書貸出利用者数(1月28日・29日は大雪で休館)  
注: 各日の10:30、12:30、14:30の時点で館内にいる利用者数を目視で数えた。そのうちで最も多かった人数をグラフ化したもの。

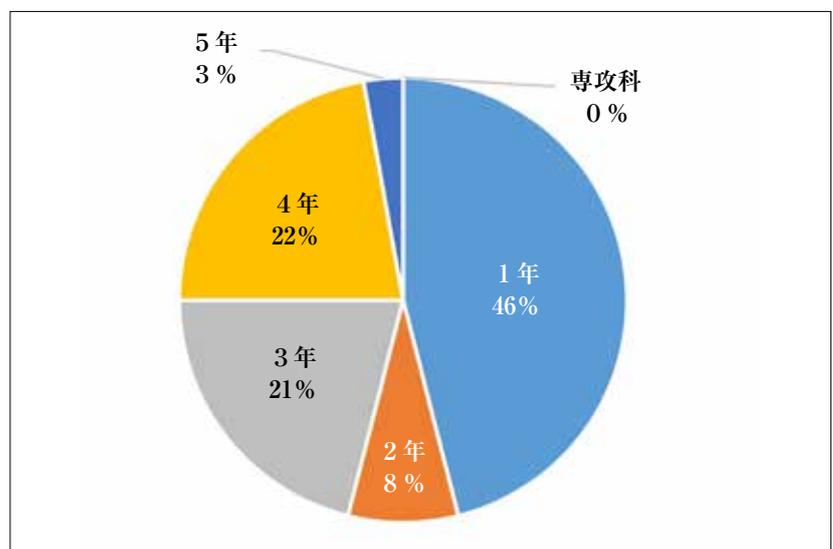


図2 休日開館日の利用者の学年別内訳  
注: 開館日ごとにアンケート用紙を配布・回収した(ただし、8月6日・7日、11月23日・26日・27日には実施なかった)。6月から2月までのアンケートの集計結果(延べ人数)を学年別の割合で示したもの。

## 休日開館(定期試験時)の利用状況報告/写真同好会とのコラボレーション

通学生/寮生の別は、寮生が78%、通学生が22%で、寮生が大半ではありましたが、寮生ばかりというわけでもありませんでした(図3)。

利用目的(複数回答可)は、「定期試験のための勉強(自習)」が圧倒的に多く、それ以外での利用はほとんどありませんでした(図4)。

これらの数字をどのようにみるかはいろいろなとらえ方ができると思います。今年度1年間では結論が出せませんでした。

引き続き2023(令和5)年度も、今年度同様に休日開館しますので(ただし祝日は休館します)、ぜひ活用してください。

なお、上記の実態調査・アンケート調査のデータは図書館のホームページに掲載します。

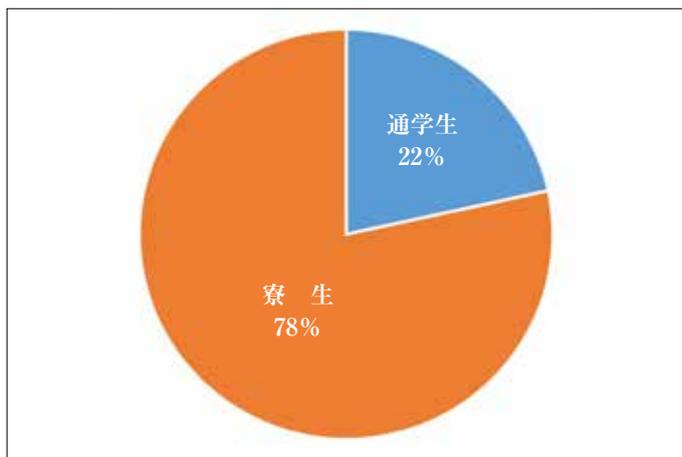


図3 休日開館日の利用者の通学生/寮生別内訳  
注: 図2に同じ。6月から2月までのアンケートの集計結果(延べ人数)を割合で示したものの。

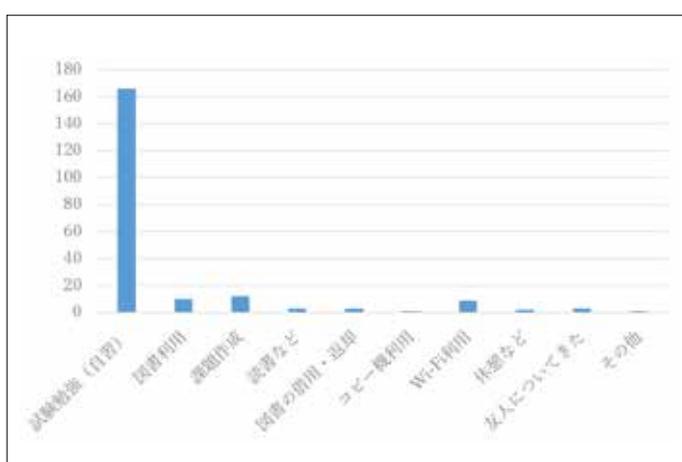


図4 休日開館日の利用者の利用目的(複数回答)  
注: 図2に同じ。6月から2月までのアンケートの集計結果で延べ人数。

## 写真同好会とのコラボレーション

図書館には、昨年4月から、写真同好会の作品を展示しています。動物や花や風景などの写真を飾ってもらって、利用者を和ませたり、楽しませたり、館内の彩りやアクセントになっています。

7月と11月に写真の入れ替えもされました。その一部を紹介させていただきます。

(20ページに続く)



## 専攻科生の図書館スタッフに話を聞きました

今年度は4名の専攻科生に図書館の業務(アルバイト)に従事してもらいました。平日(授業期間)の17時から19時までと休日開館日の10時から15時まで、カウンターや館内で貸出・返却をはじめ利用者への対応や書架の整理などを4名がローテーションで担当しました。

そこで、1年間、図書館業務を行って初めての感想や気づき、提言などを、グループチャットで聞きました。

### 動機やきっかけ

**図書館長・加藤博和(教養)**：図書館のアルバイトをしようと思った動機やきっかけは？

**S2・平野 聡(生産)**：専攻科の授業\*の中で図書館の現状分析と改善案について発表したことで、図書館の業務に興味を持ったためです。

\*「人文社会特論」(担当：加藤ほか)で課題として出題

**S1・山田優生(生産)**：学校の敷地内に図書館があるので移動がなく便利だったことと、元々本が好きで図書館には通っていましたが本を借りる人は多くなかったのもっと借りる人が増えてほしいと思ったことがきっかけです。

**S1・小島 翼(物質)**：学校の敷地内にあり、実験や研究をしながらも勤務が可能だったことや、先輩も同じように図書館業務をしていたと聞いて興味を持ちました。

**S1・衣笠廉人(物質)**：普段から利用している場所なので信頼もあり、非常に通勤しやすい位置にあったので図書館での勤務を希望しました。また、実験等で時間が遅くなりがちだったため、17時からという時間設定に魅力を感じました。

### 業務の感想

**加藤**：図書館でアルバイトをしてみてもうでしたか？

**小島**：書架整理などの業務を通して今まで知らなかった面白そうな本を見つけることがよくあり、より読書に励むきっかけにもなりました。事務補佐員の福原さんや小田さんには1年を通して親切に様々なお世話をしていただき非常に感謝しています。

**衣笠**：書架整理を行う中で、自分の興味のなかった分野についても題名等から気になり、手に取る機会もあったため、知識の興味の幅が広がったように思います。一方で、勤務シフトが不定期だったため、他の予定との噛み合わせが悪く、交代等の都合がつかないときは苦勞しました。

**山田**：いつも本に囲まれて業務ができて楽しかったです。福原さんや小田さんも親切にしてくださいまして感謝の気持ちです。大変お世話になりました。試験期間以外でも図書館を利用してくださいの方が増えるよう力になればと思います。

**平野**：17時以降は本を借りる人がほとんどいないんだなと思いました。

### 提案・提言

**加藤**：皆さんが感じているように、図書館の入館者数や貸出冊数が減少しています。図書館の利用を促したり、貸し出しが増えたりするような提案などは？

**平野**：17時以降も来館者は結構いたように感じたので、貸し出し手続きをもっと簡単にしたら貸出冊数が増えそうな気がします。

**加藤**：具体的には？

**平野**：スマホのカメラで本のバーコードを撮影して、それだけで貸し出し手続きが完了できたらよいのではないかと思います。

また、返却BOXを図書館前に設置したら、ついでに本を借りる人がいるのではないかと思います。(業務も少し楽になるので)

**衣笠**：図書館の本の検索方法が分かりにくいという相談を受けたことがありました。番号は出てくるものの探し方が分からなかったようなので、検索用PCの所に探し方マニュアルを作成すると良いと思いました。

**加藤**：「探し方マニュアル」には具体的にどのようなことが記載されているとよいでしょうか？

**衣笠**：OPACの使い方は分かるが、番号(数字)の読み方が分からないという方がおられました。OPACの数字の見方、それぞれの数字やアルファベットの意味が書いてあると良いと思います。

**山田**：今自分が借りている本の題名と冊数が確

## 専攻科生の図書館スタッフから/写真同好会とのコラボレーション

認できたら良いと思います。返却するときに戻し忘れがあると新規貸出ができないので。

**衣笠**：自分の貸し出し状況が確認できないため、心当たりのない督促が来たといった相談もあったので、貸し出し状況を自分で確認する手段を確保してあげると良いと思います。

**山田**：リクエストも web 上や teams の forms などいつでもできるようになると利用が増えると思います。

**小島**：私も、teams などのシステムを利用してネット上で本を探せたり、予約やリクエスト、貸し出し状況の確認ができると図書館の利用も増えると思います。

**山田**：専門書等が古すぎる（情報系の教材は1年や半年で変わってしまうので）のと、資格試験等（基本情報技術者試験、SPI 等）の参考書が更新されていないので、それらを借りる方は少ないと思います。

### 後輩へのメッセージ

**加藤**：先輩として、図書館活用法やメッセージなどがあれば。

**山田**：実験などで専門書をよく借りると思いますが、図書館の「リベラルアーツ」のコーナーにも面白い本がたくさんあるので読んでみると面白いと思います。後輩へのメッセージとしては、いろんなことに興味を持つきっかけになると思うので学生のうちに読書習慣をつけると良いと思います。

**平野**：自分の専攻分野とは全然違う分野の本が置かれているところを回ってみると、他分野に興味を持つきっかけになって良いのではないかなと思います。あまり本を借りていない人にも、読書のきっかけづくりとして、図書館でのアルバイトをおすすめしたいです。

**加藤**：今後の参考にしたいと思います。また、皆さんがこの経験を生かしてさらに活躍されることを期待します。ありがとうございました。

### 図書(専門書・参考書)の充実 ～後援会援助費の活用～

後援会から図書館に対して毎年度、支援を頂いています。今年度は、専門書・参考書の購入・整備に活用させていただきます。

学生(本科生)から、“専門書・参考書は古いものが多い(新しいものがほしい)”という意見・要望があります。では、どんな専門書・参考書がよいか？

そこで、そうした図書館事情で苦勞してきた(?)専攻科生に、後輩のための、勉学に必要な、役立つ、参考になる図書をリストアップしてもらいました(約60冊)。

学生の皆さん、新年度にはそれらの図書が並んでいますので、ぜひ利用してください。

こんにちは、写真同好会です。2022年から図書館に同好会メンバーが撮影した写真を飾っています。写真は、L判やA4判に印刷したものを額縁に入れ、本棚の隙間や棚の上など図書館内のいろいろなところに

飾っています。

展示している写真をいくつか掲載しますので、館内でぜひ探してみてください。図書館の写真は時々入れ替えていますので、新しい写真がないか探してみてください！



## 図書館の利用状況をお知らせします

### 貸出冊数

2017(平成29)年度から昨年度・2021(令和3)年度までの学年別の貸出冊数を図に示しました。

この期間では、2018(平成30)年度が合計12,891冊借りられていて、最も多かったです。KOSEN4.0イニシアティブ事業で、図書館の図書利用を推進していました。2020(令和2)年からは新型コロナが流行し始め、登校できる日が少なくなった影響もあると思われます。2021(令和3)年度は、2018年度の半数にとどまっています。

ちなみに、貸出冊数の最も多かった学年・学科・クラスは表1のようになっています。

なお、今年度の数字は、2023年2月10日までのもので表2のようになっています。

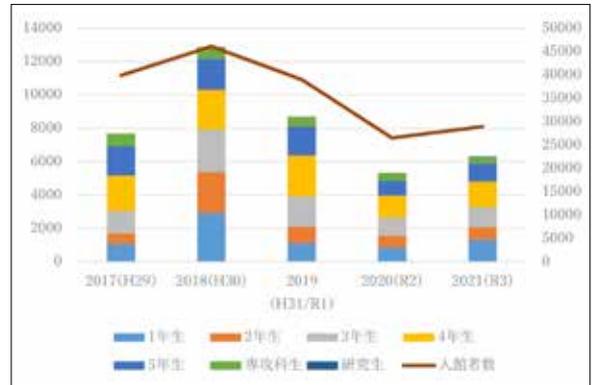


図 貸出冊数(学年別)と入館者数の推移  
注: 専攻科生は1年生と2年生の合計値。研究生は2021年度のみ。

### 入館者数

図書館・閲覧室入口に設置してあるセンサーによって入館者数をカウントしています。同一人の出入りも延べでカウントされていますが、入館者数も示してみます。2018年度が46,122人で近年では最も多く、2020年度が26,519人で最も少なかったです。

表1 貸出冊数の最も多かった学年・学科・クラス

	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31/R1)	2020(R2)	2021(R3)
学 年	4年生	1年生	4年生	4年生	4年生
学 科	C	C	C	C	C
ク ラ ス	4C	3C	4C	3C	4C

表2 今年度の貸出冊数(2023年2月10日まででの集計)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	研究生	専攻科生	合計
1,120	311	858	748	1,606	6	472	5,121

今年度、貸出回数の多かった図書を紹介しておきます(表3)。

表3 今年度よく借りられた図書(2023年2月10日まででの集計)

順位	貸出回数	タイトル	著者
1	26	TOEIC L&R test 出る単特急金のフレーズ	TEX 加藤
2	20	4 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
3	19	TOEIC L&R テスト文法問題でる 1000 問	TEX 加藤
4	17	TOEIC L&R test 出る単特急銀のフレーズ: 新形式対応	TEX 加藤
5	16	編入数学徹底研究: 大学編入試験対策: 頻出問題と過去問題の演習	桜井基晴
5	16	詳解電気回路演習 上	大下真二郎
5	16	詳解電気回路演習 下	大下真二郎
8	15	3 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
9	14	編入数学過去問特訓: 大学編入試験対策: 入試問題による徹底演習	桜井基晴
9	14	大学編入のための数学問題集	碓氷久 [ほか]
9	14	オペアンプの基礎マスター	堀桂太郎
9	14	[ 1 ]; 1 駅 1 題新 TOEIC TEST 文法特急	花田徹也
9	14	1 ; 公式 TOEIC listening & reading 問題集	Educational Testing Service
14	12	有機化学: その基礎の理解	W.W. Linstromberg, H.E. Baumgarten 著; 野副重男訳
15	11	The wizard of Oz	L. Frank Baum ; retold by Rosemary Border
16	10	The tickets	Rob Waring and Maurice Jamall
16	10	推し、燃ゆ	宇佐見りん

## リベラルアーツセンターより

リベラルアーツセンターでは今年度、下記のような事業を行いました（詳細は、リベラルアーツセンターだより[ホームページ]に掲載します）。

### 【対話型鑑賞】（「コレクション宅配便」事業）

鳥取県立博物館が所蔵している美術品を県内の学校に持ってきていただき、それら本物の作品を、みんながそれぞれ感じたままを声に出してじっくり鑑賞する（「対話型鑑賞」と呼ばれています）「コレクション宅配便」という事業を本校も利用しました。

今年度は2回実施しました（昨年度は1回）。1回目は、10月14日（金）に3年電子制御工学科の学生を対象に、2回目は、12月8日（木）に4年生の選択科目（社会科学Ⅲ）の中で行いました（授業終了後も展示して他の学生・教職員にも自由に鑑賞してもらいました）。

図書館の1階と2階に、1回目は7点、2回目は4点の版画作品、彫刻と工芸作品が並べられ、数人ずつのグループに分かれてローテーションで鑑賞しました。県立博物館美術振興課のスタッフの方たちがファシリテータを務め、学生たちも思い思いに感想を話しました。

図書館には、米子市出身の田村憲二氏の絵画



鑑賞している様子(10月14日)



鑑賞している様子(12月8日)

が多数展示してあります。そのうち、「大山(春)」(1階ロビー)、「大山(秋)」(2階ロビー)などもあわせて鑑賞しました。閲覧室にある高価な椅子にも座ってみました。

皆さんもどうぞ図書館や校内に飾られている絵画や美術工芸品に触れ、感性を磨いてみてください。

### リベラルアーツ講演会

米子高専での学びに、幅広い視野や自由な発想を加え、学生たちがより伸長できるよう、毎年度、外部講師を招へいして講演会を開催しています。

今年度は、科学史を研究・教育されている東京理科大学の愼 蒼健教授(教養教育研究院・院長)に「科学史の現代的意義とは何だろうか」と題して講演していただきました。

12月22日(木)に3年物質工学科の学生がオンラインで聴講しました。学生たちは既知の常識を大いに揺さぶられたようです。



リベラルアーツ講演会の様子

また、リベラルアーツ特別講演として、地球環境やエネルギーについて問題意識を高め、自ら考えてもらうため、外部講師による授業を3年の4クラスで行いました。

- ① 12月9日(金) 3年電子制御工学科  
    (株)ユニバーサルエネルギー研究所 金田武司氏
- ② 12月14日(水) 3年電気情報工学科
- ③ 12月14日(水) 3年建築学科  
    チームEEE(エネルギー環境教育実践チーム) 幸 浩子氏
- ④ 12月16日(金) 3年機械工学科  
    原子力発電環境整備機構 富森 卓氏・真壁佳代氏



リベラルアーツ特別講演の様子

## KOSEN フォーラム・オーガナイズドセッション

今年度の KOSEN フォーラムでは、オーガナイズドセッション「高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から」を9月5日(火)にオンラインで開催しました(『としょぶらり』前号で既報)。

これらの他、「ビブリオバトル」(図書館)や、「とっとりサイエンスワールド2022」(米子高専数学・科学振興会)を共催しました。

図書館に、リベラルアーツに関連する図書も購入しています。

今後とも、リベラルアーツを教育・研究に生かしていきたいと思ひます。

### 「延長コードリール」を利用してください

図書館1階の交流プラザの勉強エリアには、電源コンセントがあまり設置されていません。パソコンなどを使用する際、電源がなくて充電できないといった不便を感じたことはありませんか。

図書館では、延長コードリールの貸し出しを行っています。ドラム型の本体に電源コードを巻き付けた延長コードです。例えば新聞ラックのところにある電源から勉強の机のところまで電源をつないで利用してください。気軽にスタッフに声をかけてもらえばと思います。

### 編集後記

昨年度と今年度、図書館長・リベラルアーツセンター長を務めました。この間、実現(実施)できたこともあれば、道半ばのこともあり、自身の浅学非才を思い知りました。今後は一利用者として図書館を利用(活用)したいと思います。

2年間、「としょぶらり」も読んでいただき、ありがとうございました。

(教養教育部門 加藤 博和)

## 図書館業務・活動記録

1月4日(水)～13日(金)

図書館運営委員会(第3回)(Teams)

1月24日(火)・25日(水)・26日(木)

臨時休館(警報発令に伴う登校禁止のため)

1月28日(土)・29日(日)・2月4日(土)・5日(日)

学年末試験に合わせた開館

(→1月28日・29日は、悪天候が予想されたため中止)

2月3日(金)～3月16日(木)

春季長期貸し出し(特別貸出)の実施

2月24日(金)～3月3日(金)

図書館運営委員会(第4回)(Teams)

3月 図書部会(第4回)

3月 としょぶらり第116号の発行

3月 研究報告第58号の発行

(図書館ホームページに掲載)



## 北野 忠相

2005年3月 電子制御工学科卒（14期）  
 2005年4月 大手システムインテグレーターへ就職  
 2012年 鳥取県へUターン  
 2014年 (株)インフォメーション・ディベロップメントへ転職  
 現在、スマートソリューション部クラウドマネージドセンター センター長

### ■(株)インフォメーション・ディベロップメント (ID) はどんな会社でしょうか？

社会基盤を担う金融・運輸・エネルギー業界を中心に、コンサルティングからITインフラ、ソフトウェア開発、サイバーセキュリティ、システム運用管理までワンストップで提供している会社です。県内（米子市）には、地域のDXを推進する拠点としてスマートソリューション部を開設し、主にシステム開発を行う開発センターと、お客様のシステムを24時間365日で運用監視サポートするクラウドマネージドセンターがあります。

世界にはアジア、アメリカ、ヨーロッパに9拠点を有し、鳥取市にはグループ会社の愛ファクトリー(株)があります。葉物野菜の生産加工を行っており、障がい者の方々を積極的に雇用しています。また、米子市にはIDホールディングスの本社機能の一部を担う山陰BPOセンターがあり、人事・経理・総務といったバックオフィス業務を担っています。

### ■現在ではどんなお仕事をされていますか？

お客様のシステムを24時間365日で運用監視サポートするクラウドマネージドセンターにおける組織の管理を行っています。一般的な運用監視業務は、特定の顧客専用で体制や運用手順を整備し、完全オーダーメイドのようなやり方を採用することが多いのですが、私の組織では複数の顧客に対して同時にサービス提供しているため、完全オーダーメイドではなく予め構築した仕組みを用いて、画一的な対応ができるよう目指しています。それを実現するために、サービスの企画や方式の検討から技術者の育成等、幅広い業務を行っています。

### ■仕事について（転職のきっかけは？）

米子高専卒業後は東京の会社でSEとして働いていたのですが、地元へのUターンのためベンチャー企業へ転職しました。その後、勤めていたベンチャー企業が経営破綻となり失業しました。そのとき自身が持っていたスキルが活かせる企業を探していたところ、米子高専の恩師の紹介もあり当社へ転職することとなりました。

### ■仕事について（仕事のやりがいは？）

世の中の多くの仕事に共通して言えることだとは思いますが、私の仕事のほとんどは「課題（問題）解決」です。課題あるいは問題として解決したいテーマがあり、それを無事解決できたときは難しいテーマであっても些細なテーマであっても例外なくうれしく、やりがいを感じます。ITの分野において新しい技術に触れる機会も多く、自分の知識やできることが日々増えていっていると感ぜられることも大きなやりがいとして実感しています。

### ■後輩たちへのアドバイスをお願いします。

まずは自分自身のことをよく知ることが重要だと思います。自分は何が好きなのか、何をするとうれしいのか、楽しいと感じるのか、興味があるのか等々…。学校の授業や部活、バイトからそのヒントが得られるかもしれませんし、実は得られないということがわかるかもしれません。あくまでも自分の人生において自分が主人公であることを自覚して日々生活することが大切だと思います。



北野さんの仕事風景

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システム部門)、E…電気情報工学科(電気電子部門)、D…電子制御工学科(J…情報システム部門)、C…物質工学科(化学・バイオ部門)、A…建築学科(建築デザイン部門)、G…教養教育部門、S…専攻科  
 例えば、「5M」は機械工学科5年生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009  
 ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：東京印刷株式会社